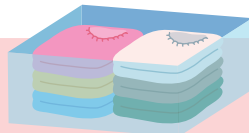


施工 エリア	岡山市内	県東部	県西部
	倉敷市内	県北部	県南部

平均 坪単価	20万円台	30万円台	40万円台
	50万円台	60万円台	70万円台

ひらお通信

春、夏の衣替え時期はいつがいいの？



おすすめの時期

衣替えの時期は、何回かに分かれて行うのがおすすめです。理由は、一気に衣替えを行ってしまうと、急に寒くなった時に対応出来なかつたり時間がかかってしまうためです。何回かに分けた場合のおすすめ衣替え時期を紹介します。

1回目 3月～4月上旬

少し暖かくなってくると、3月～4月中に1回目の衣替えを行います。この衣替えで行うのは「**タウナーや厚手の冬服をしまう**」「**春服、スプリングコートを出す**」「**冬用の靴を片付ける**」「**いらない冬服を処分する**」などです。

2回目 5月後半～6月1日

夏服の衣替えは、5月後半～6月1日までに行うといいと言われてます。この時期に行うのは「**夏服を出す**」「**残りの冬服をしまう**」です。まだまだ夏服だと肌寒い時が多いので、薄手の春服やカーディガンは残しておきます。

3回目 7月頃 (タンスをスッキリさせたい方用)

左に書いた2回の衣替えでもいいですが、タンスをスッキリさせたい方は7月頃の暑くなった時期に春服をしまいましょう。3回目の衣替えで行うことは、「**春服をしまう**」「**真夏用の服を出す**」です。3回に分けると、1回ごとの衣替えがだいぶ短時間で済んでタンスも必要な物だけが出ている形になるため、スッキリしますね。

POINT
1

気温と衣替えの目安

お住まいの場所によって、衣替えの時期が少し前後すると思います。また、冷夏や猛暑でも、衣替えの時期が変わってきますね。衣替えの目安となる気温は、春服を出すのが**15度を越えた頃**、夏服を出すのが**25度を越えた頃**がおすすめです。

POINT
2

臨時収納スペースを用意する

肌寒い日、暖かい日、春は少しわがままな気温が繰り返されます。衣替えだからといって冬服を全て収納してしまうと、肌寒い日の外出は大変。そうならないためにも、長袖のインナーやセーターなどをついても取り出せる「**臨時収納スペース**」を用意しておくのがおすすめです。特に、中身が見える収納ケースはどこにどんなものが入っているのかが分かりやすいため、臨時収納に向いています。また、何段かに分かれているケースの利用も、洗濯済みですぐに衣替えができるものと、洗濯やクリーニングが必要なものとに分別できるので、非常に便利です。

POINT
3

少しずつ収納していくことがコツ

徐々に暖かくなり始めたら、そろそろ衣替えの準備をしましょう。しまう準備としては、厚手のものから。念のため、薄手のセーターや上から羽織るものなどは、すぐに取り出せるように先ほどの臨時収納スペースに残しておきましょう。ちなみに、**衣替えの目安は天気、気温が安定する「春分の日」の前後、3月20日～3月21日ごろ**。冬服をしまいつつ、春から夏に向けた薄手の衣類に替えていくのが理想です。

POINT
4

気をつけたい、収納時の注意点

きちんと洗濯、クリーニングをしてから収納を！まず、冬服を収納する時の注意点としては、きちんと洗濯・クリーニングをしてからということ。「1回しか着てないから、そのまましまっちゃえ。」春先のセーターにありがちです。しかし、1回着ただけでも汗や垢などの目に見えない汚れや、食べかすが付着していることがあります。これらは虫の大好物。洗濯しないで収納してしまうと、シミや黄ばみ、虫食いの原因ともなりますので、きちんと洗ってから収納しましょう。

POINT
5

防虫剤の扱いにも注意！

さらに、収納時の防虫剤の扱いにも注意が必要です。例えば、**衣類の下に防虫剤を置くという方法**。実はこれ、「**効き目が半減する**」と言っても過言ではない**使い方なのです**。というのも、防虫剤に使用されている成分は空気よりも重いため、衣類の下に置いてしまうと成分が全体に行き渡らず、その効果も得られません。また、標準使用量より多めに入れることもNG。効果が強化されそうですが、有効成分が結晶化してしまうなどの、かえって汚れやシミの原因となってしまいます。使用する防虫剤の説明をもう1度よく読み、用法、用量を守るようにしましょう。プラスして底へ乾燥剤(シートでも可)を入ると、カビや匂いを防いでくれます。

春の衣替えは、天気や気温との相談。少しずつ、徐々に衣類を入れ替えれば、寒暖の変化に対応できると思います。来年もお気に入りの衣類を着られるように、そして新年度を気持ちよく迎えて、春～夏を快適に過ごせるよう、スッキリ収納しましょう。